

えひめ 私のカルテ



大腸がん

ステージⅠ,Ⅱ手術後

お名前：_____

発行病院： 松山赤十字病院

発行年月日： 20 年 月 日

はじめに

「連携パス」とは、手術等を行った施設の医師と地域のかかりつけ医、保険薬局、訪問看護ステーション等があなたの治療経過を共有できる「治療計画表」のことです。

「連携パス」を活用し、病状が落ち着いているときの投薬や日常の診療はかかりつけ医が担当し、専門的な治療や定期的な検査は拠点病院が担当することによって、患者さんは、

- 最良の医療が継続して受けられます。
- ゆとりのある診察が受けられます。
- 病院・診療所での待ち時間が短くなります。
- 重複した検査・投薬が避けられます。
- 遠い人は通院の費用も軽減されます。



「連携パス」について心配やご不安がある場合は、遠慮なくお尋ねください。

も く じ

はじめに／もくじ	1
患者基礎情報	3
連携医療機関の一覧	5
退院後の日常生活	7
退院後の食生活	9
退院後もこれだけは忘れずに！	11
大腸がん連携パス	13
自己チェックシート	15
患者さん用メモ	27
医療者用連絡メモ	29
がん相談支援センターのご案内	33



患者基礎情報

記載日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名			
生年月日	明・大・昭・平	年	月 日
住所			
電話	自宅・携帯	-	-
緊急連絡先			
(電話 - -)			
血液型	型	身長	cm 体重 kg
アレルギー歴			
あり ・ なし			

薬の副作用

薬の名前	症状	いつ頃

今までにかかった病気

アレルギー性疾患

心臓の病気

腎臓の病気

肝臓の病気

消化器の病気

その他

その他

連携医療機関の一覧

がん診療連携拠点病院名（記載日： 年 月 日）

松 山 赤 十 字 病 院

外 科

担 当 医：

電話： 089 - 924 - 1111（代 表）

かかりつけ医（初回受診日： 年 月 日）

電話： — —

調剤薬局

電話： — —

居宅介護支援センター、訪問看護ステーション、支援事業所など

ケアマネ：

担当者：

電話： — —

× 毛

退院後の日常生活

●手術後におこりやすい症状について

大腸を切り取ったために栄養吸収や食事摂取量の低下、それらに伴う体重減少などのトラブルはほとんどありません。しかし多くの場合、術後1~2ヶ月でやや軟便の状態となることが多いですが、ときに便秘気味になる場合があります。

一方、直腸を切除した場合には、便をためる能力と便を押し出す能力が低下するため、排便の回数が増加したり、1回の便量が減少したり、残便感などの排便機能障害をきたします。

また、小腸や大腸の癒着（ゆちゃく）により、内容物の通過不良が生じ、腹部の膨満を感じたり、あるいはひどくなると腸閉塞（ちょうへいそく）となる場合があります。

これらの症状は、多くの場合、食事療法や下剤や消化薬でコントロールすることができ、術後一定の期間がすぎると生じにくくなります。

●社会復帰に向けて

社会復帰が可能となる時期は、年齢や体力、社会的状況、仕事内容、手術術式などにより異なりますので、個々の状況に応じて対応すべきです。ひとつの目安としては、退院後の仕事内容が主にデスクワークであれば術後1ヶ月程度で、腹筋をよく使う運動や仕事であれば術後2~3ヶ月くらいを目処に社会復帰が可能と考えます。



退院後の食生活

●食生活に注意して

原則的には、食事の種類に制限はありません。つまり、何を食べてもかまいませんが、食物繊維が多く含まれているものや消化しにくいものは、腸閉塞の原因となることがありますので、術後3ヶ月は控えたほうがよいでしょう。

最も基本的なことは、おいしく、ゆっくり、楽しく、食べることです。次のことに留意して、規則正しく、バランスの良い食事を心がけましょう。また、ほどほどならアルコールを飲むことも可能です。

●注意した方がよいおなかの症状について

便秘に対しては、水分や食物繊維を多くとるようにし、生活のリズムを整え、適度な運動を行い、規則正しい食事と排便の習慣をつけましょう。食事・生活習慣に注意しても便秘が続く場合、下剤が必要となりますので、担当医に相談しましょう。

下痢の場合は、消化の良い食品をとり、水分を制限せずに、むしろ補いましょう。少量ずつの食事を、回数を増やすことで、消化管の負担を軽くしましょう。

頻便の場合は、生活のリズムを整え、食事時間を規則正しくしましょう。過労は禁物です。

腹部膨満感に対しては、1回の食事量を控えるように心がけましょう。それでも治らなければ、一度、食事をやめましょう。食事をやめても腹部膨満が続き、排ガスのない場合は腸閉塞が疑われます。担当医にすぐに相談しましょう。

退院後もこれだけは忘れずに！

● 定期的な診察や検査に行きましょう

術後5年を目処に、定期的な診察や検査を行います。

診察や検査の間隔は、手術後の状態によって異なりますから、医師の指示通り、決められた日に診察や検査を受けるようにしてください。なお、定期検査は大腸がんを対象としているものです。他の病気をカバーするものではありません。

● 指示された薬は忘れずに服用しましょう

病院で処方された薬は、消化薬や緩下剤で、手術後の状態を安定させるためや排便習慣を安定させるのに必要なものです。薬を服用するように医師から指示された場合には、指示された通りに忘れずに正しく服用しましょう。

副作用がある場合には、医師に申し出てください。

●悩んでいるのはあなただけではありません

あなたが安心して治療や検査を続けていくためには、家族とともに医師や看護師さんとのコミュニケーションをよくし、一緒にこの病気と闘っていく気持ちが大切です。

まだまだ不安や悩みがあると思いますが、あなたと同じ経験をされた患者さんはたくさんいらっしゃいます。そして、その多くの方が病気を克服し、充実した人生を送っていることを心にとめておきましょう。決して自分のからに閉じこもってしまわないように、明るく希望を持って、病気をしてかえって良かったと思うような、前向きな生活を送ってください。



大腸がん手術後連携パス



■手術日 年 月 日

診療場所		拠点 病院	かかり つけ医	拠点 病院	かかり つけ医	拠点 病院	かかり つけ医
経過		1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	9ヶ月	1年	1年 3ヶ月
月 日		/	/	/	/	/	/
問診	痛み、食欲の有無、腹部症状の有無、排ガスの有無、便の性状、体重、その他の症状などを確認します。	○	○	○	○	○	○
視触診	腹部の状態を観察して、合併症の再発の有無を確認します。	○	○	○	○	○	○
	直腸がんの手術後の方は直腸を指診します。	○		○		○	
検査	血液検査（肝機能、腎機能、貧血、腫瘍マーカーをみます）	○	○	○	○	○	○
	CT （全身の転移の有無をみます）			○		○	
	大腸内視鏡検査			△		○	
投薬	薬が処方される場合があります。						
	一般薬	△	△	△	△	△	△
説明	検査結果についての説明や副作用、合併症の対処方法を確認します。						

5年間スケジュール



○は必須項目 ○印以外は必要時行うようになります

拠点 病院	かかり つけ医	拠点 病院	かかり つけ医	拠点 病院	かかり つけ医	拠点 病院	かかり つけ医	拠点 病院	かかり つけ医	拠点 病院
1年 6ヶ月	1年 9か月	2年	2年 3ヶ月	2年 6ヶ月	2年 9か月	3年	3年 6ヶ月	4年	4年 6ヶ月	5年
/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○		○		○		○		○		○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
○		○		○		○		○		○
		△				○		△		○
△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△

自己チェックシート

自己チェックシートは、患者さんとかかりつけ医や、がん診療連携拠点病院の担当医の連絡表です。

薬の副作用や、がんの術後に予想される症状を箇条書きにしておりますので、該当する症状がある場合は○、△で記入してください。

該当する症状が箇条書きにない場合は、メモのページに具体的に記入してください。



記入例

大腸がん自己チェックシート

症状(異常)がある方は「有」に○印をつけ、下記項目に○、△でお答えください。

■ 記入方法 はい・・・○ ときどき・・・△

自己チェック項目		7/1	/	/
		有・無	有・無	有・無
症状(異常)の有無 ※何らかの症状がある場合は、下記項目に印をつけてください。		○		
自己検診	お腹が痛い	○		
	お腹が張っている			
	排便の具合が悪い(下痢、便秘など)			
	ガスが出ない	○		
	食欲がない	△		
	手術の傷が痛い	△		
	体重：測定した値を記入しましょう	Kg	Kg	Kg
その他				

大腸がん自己チェックシート



■手術日 年 月 日

自己チェック項目		/	/	/
		有・無	有・無	有・無
症状（異常）の有無 ※何らかの症状がある場合は、下記項目に印をつけてください。		有・無	有・無	有・無
自己検診	お腹が痛い			
	お腹が張っている			
	排便の具合が悪い（下痢、便秘など）			
	ガスが出ない			
	食欲がない			
	手術の傷が痛い			
	体重：測定した値を記入しましょう	Kg	Kg	Kg
その他				

大腸がん自己チェックシート



自己チェック項目				
		/	/	/
症状（異常）の有無 ※何らかの症状がある場合は、下記項目に印をつけてください。		有・無	有・無	有・無
自己検診	お腹が痛い			
	お腹が張っている			
	排便の具合が悪い（下痢、便秘など）			
	ガスが出ない			
	食欲がない			
	手術の傷が痛い			
	体重：測定した値を記入しましょう	Kg	Kg	Kg
その他				

大腸がん自己チェックシート



自己チェック項目		/	/	/
		有・無	有・無	有・無
症状（異常）の有無 ※何らかの症状がある場合は、下記項目に印をつけてください。		有・無	有・無	有・無
自己検診	お腹が痛い			
	お腹が張っている			
	排便の具合が悪い（下痢、便秘など）			
	ガスが出ない			
	食欲がない			
	手術の傷が痛い			
	体重：測定した値を記入しましょう	Kg	Kg	Kg
その他				

大腸がん自己チェックシート



自己チェック項目		/	/	/
		有・無	有・無	有・無
症状（異常）の有無 ※何らかの症状がある場合は、下記項目に印をつけてください。		有・無	有・無	有・無
自己検診	お腹が痛い			
	お腹が張っている			
	排便の具合が悪い（下痢、便秘など）			
	ガスが出ない			
	食欲がない			
	手術の傷が痛い			
	体重：測定した値を記入しましょう	Kg	Kg	Kg
その他				

大腸がん自己チェックシート



自己チェック項目		/	/	/
		有・無	有・無	有・無
症状（異常）の有無 ※何らかの症状がある場合は、下記項目に印をつけてください。		有・無	有・無	有・無
自己検診	お腹が痛い			
	お腹が張っている			
	排便の具合が悪い（下痢、便秘など）			
	ガスが出ない			
	食欲がない			
	手術の傷が痛い			
	体重：測定した値を記入しましょう	Kg	Kg	Kg
その他				

患者さん用メモ

- 定期受診は5年目までです。
- 定期受診日以外でも必要があれば受診してください。

年月日	気になることがあれば自由にご記載ください。

患者さん用メモ

年 月 日	気になることがあれば自由にご記載ください。

医療者用連絡メモ

年 月 日	連絡事項等あればご記載ください。	サイン

医療者用連絡メモ

年 月 日	連絡事項等あればご記載ください。	サイン

メモ

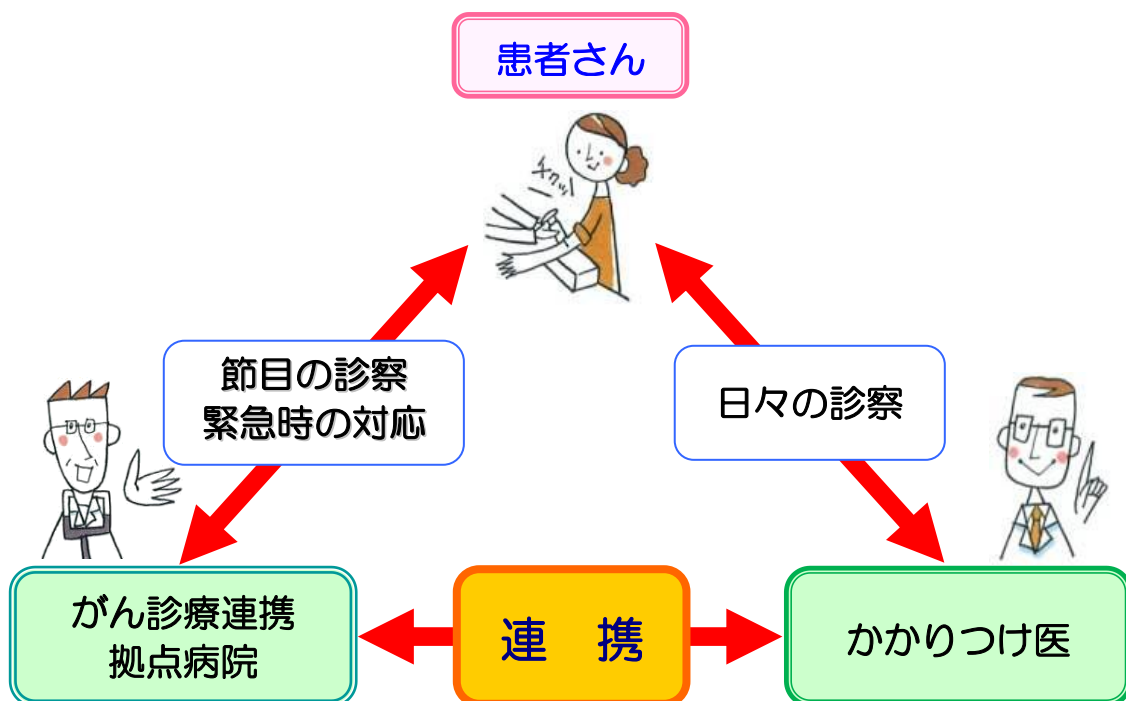
メモ

がん相談支援センターのご案内

がん診療連携拠点病院の「がん相談支援センター」では、専任の看護師、医療ソーシャルワーカーががんに関するあらゆる相談に応じています。

- がんの痛みや不安について
- がん治療の費用について
- 家族の方の不安について
- 一般の方のがんに関するご質問・・・など。

退院後の生活に必要なサポートについても、主治医、病棟の看護師、地域の医療・福祉関係者と考えていくとともに、かかりつけ医とがん診療連携拠点病院とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割も果たしています。



ご心配な点があれば、まずはかかりつけ医にご相談ください。

かかりつけ医に連絡がつかない場合は、以下にご連絡下さい。

● がん診療連携拠点病院： **松山赤十字病院**

● 窓口名：地域医療連携課（がん相談支援センター）

● 平日 8：30 ～ 17：10

地域医療連携課（がん相談支援センター）

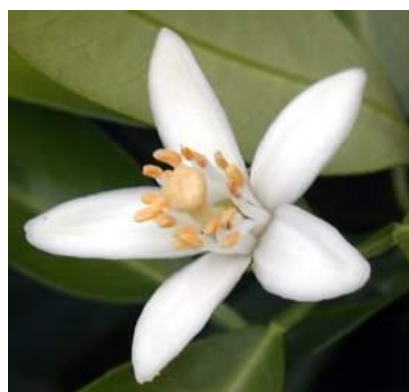
（直通）089-926-9516

● 平日時間外及び土、日、祝祭日（緊急時）

日直／夜間当直（※看護師）

（代表）089-924-1111

がん治療連携計画策定料、指導料
算定 なし あり



みかんの花



かかりつけ医

病院名： _____

担当医： _____ 先生

電 話： _____

※拾った方は上記にお届け下さい。

